



令和5年11月28日

教育委員会社会教育課	
担当者	大原 康岐
電話番号	0869-34-5605 (直通)

瀬戸内市が「女子野球タウン」に認定されました

平素は、本市教育行政の推進に格別の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、一般社団法人全日本女子野球連盟（以下「連盟」という。）により、岡山県初となる「女子野球タウン」として認定されました。

今後は、女子野球を通じてまちの魅力・地域資源等を広く市内外にPRするとともに、本市を拠点に活動する女子硬式野球チーム「瀬戸内ブルーシャインズ」と協力して、スポーツ分野に限らず、市内の様々な団体等と連携しながらSMBP（Setouchi City Madonna Baseball Project）として展開して参ります。

※女子野球タウンとは

女子野球タウン認定公募要項で定める基準を満たした市区町村を、連盟が「女子野球タウン」として認定する制度です。

認定後は、市と連盟で協定を締結し、女子野球の普及のみならず、市区町村のPRや地域の活性化を共に行っていき相互の発展を考えるほか、女子野球を通じて国際社会の共通目標として掲げられているSDGsのジェンダー平等や住み続けられるまちづくりを進めるとともにダイバーシティの推進にも取り組むなど、女子野球および市区町村の社会的貢献も目指していくものとなります。



Madonna = 女子野球日本代表愛称

事業の目的

女子野球タウンとして一般社団法人全日本女子野球連盟と女子野球タウン協定を締結し連携することで、**女子野球を通じた人づくり、地域づくりの実現、女子野球的普及及び発展**を目指す。

取組の内容

※女子野球タウン認定公募要項 別紙「認定基準表」

必須1

シティプロモーションの一環として女子野球を活用すること

- ✓ 継続的に多様な形で関わる**関係人口の創出・拡大**を図り、女子野球を通じてまちの魅力・地域資源等を広く市内外にPRする。
【例】広報紙、SNS (X (旧Twitter) Instagram) 等を活用し、大会・イベント情報や選手紹介動画を発信。

必須2

市区町村の特性を生かしたオリジナル企画の提案

- ✓ 地域と協働し、スポーツ施策のほか、子育て、防災、人権、産業等の**他分野と連携した事業**を展開する。



※写真はこれまでの取組事例を抜粋



取組の内容

※女子野球タウン認定公募要項 別紙「認定基準表」

選択1

女子野球の大会誘致、実施をする、している

- ✓ 瀬戸内ブルーシャインズが中四国地方にある女子硬式野球チームによるリーグ戦「**ルビー・リーグ**」に参戦し、邑久スポーツ公園野球場にてホームゲームを実施。
- ✓ 市内に練習拠点がある岡山学芸館高等学校との交流試合 瀬戸内ダービーや近隣チームとの交流試合の企画・実施。



(令和5年4月8日オープニングゲーム)



(試合後の記念写真)

選択2

球場や付帯施設を女子野球に活用する、している

- ✓ ユニバーサルデザインを取り入れた清潔で誰にでもやさしいトイレを整備。
- ✓ 空調設備付きミーティングルーム改修及び本部席の空調整備。
- ✓ 球場の不陸正整及び緩衝材の更新。
- ✓ 場外への飛球対策として防球ネットの新設。



(新たに建設した野球場トイレ外観)



(多機能トイレ内観)

選択3

女子野球を通じ、地域の女性地位向上を考える活動をする、している

- ✓ **将来も野球を続けたい女性の受け皿**である瀬戸内ブルーシャインズを支援するとともに、全体で協働し女子野球普及活動等を行う。

【支援や全体での協働イメージ】



※瀬戸内市と一般社団法人瀬戸内市女子硬式野球部によるスポーツ分野等協力に関する覚書



多様かつ複合的な地域課題により効果的に対応するため、社会教育関係団体、企業、NPO、学校等の多様な主体との連携が重要である。行政と瀬戸内ブルーシャインズをはじめとした地域との連携・協働により、既存の取組と女子野球を掛け合わせた事業を展開することで、これまでになかった新たなアイデアや価値を生み、女子野球による新しい地域づくりを行う。

● 他分野と連携した取組例

(1) 学校との連携

美和小学校で、「美和ランド^(※)」と呼ばれる子どもたちとの交流を行い、鬼ごっこやバッティングターゲット、フレスコボール等のスポーツ活動を実施。

また、幼稚園とも連携し、親子を対象に家庭教育に関する学習機会を提供する「家庭教育学級」に参画し、ボールを使った遊びを通して体を動かす楽しさを伝える。

※美和っ子太鼓という古くから地域で受け継がれてきた太鼓の演奏。この太鼓の練習後、子どもたちと地域の繋がりを作ろうという目的に校舎を利用して交流する取組のこと。

(2) 外遊び推進への協力

海や山をはじめとする自然や歴史・文化など地域の社会資源の豊富な魅力を生かした外遊びを通じて、赤ちゃんからお年寄りまですべての市民が、参加し、関わり、見守る「こどもひろば」を推進し、市全体が子どもの遊び場で、すべての世代が外遊びを楽しめるまちを目指している。

今年度中に、邑久スポーツ公園野球場隣接の「冒険の森」がリニューアルされるため、この場を使って開催される「こどもひろば」イベントに瀬戸内ブルーシャインズの選手が参加し協力する。

(3) スポーツ少年団等への協力

市内の軟式野球スポーツ少年団3団体の練習に協力し、技術指導や将来の夢などの語り合いを通じた交流で、瀬戸内ブルーシャインズの選手、子ども双方に刺激ある取組を行う。

その他、交通安全、防災活動や消防団員募集等啓発活動、農産物PR、農家との交流会、人権スポーツふれあい教室等を実施予定



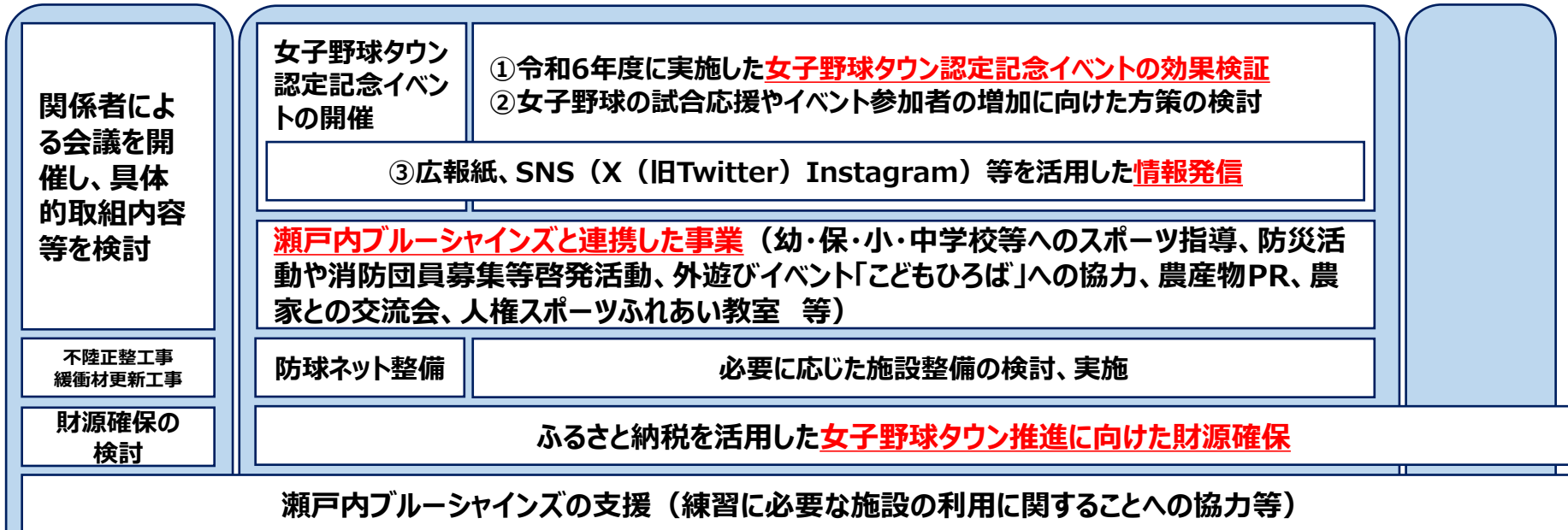
遂行スケジュールと推進体制

女子野球タウン認定公募要項別紙「認定基準表」の内容を最低5年間遂行する。遂行に係るスケジュール及び進捗状況の統括は、教育委員会社会教育課が実施する。

令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度 ...



事業スキームと詳細



推進体制

